

子育て この本！

ググってもググっても
休まらない親ごころ。
かける言葉に
とまどう祖父母ごころ。

大切なことは、ここに.....

Chio (ちいさい・おおきい・よわい・つよい)

Oha (おそい・はやい・ひくい・たかい)

不思議な書名の2冊。

広告をとらず、
心ある専門家たちが
刊行を続けて25年。



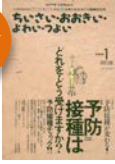
このリーフレットの配布には、「Chio&Oha1000人プロジェクト」
読者 PR ボランティアの方たちにご協力を頂いています。



Chio (ちいさい・おおきい・よわい・つよい) どんな本？



1993年
創刊



No.61
7万部



食
環境



体質
慢性病
障害

こころ
社会

話題の最新刊



しつけ
教育



予防接種・かかりつけ医・
差別をテーマに

創刊は1993年。四半世紀前のこと。当時、朝日新聞、NHKニュースでも取りあげられ、1万件を超える問い合わせがあり、「育児誌ブーム」の先駆けとなりました。マニュアルではない、考える力をつける硬派な子育てBOOKともいわれています。企業広告をとらず、読者の購読料だけで刊行を続けています。

過去のバックナンバーは、こちらから↓



Chioって どういう意味？



「ちいさい・おおきい・よわい・つよい」ってなんだ？

ぼくたちの価値観というものが、いつごろどんなふうにできあがったのか調べるのが好きです。世の中には数えきれないほど沢山沢山、差別があって、「こいつはどうかにならないか」と考えていて、そうするとどうもぼくらの持つ価値観が差別に大きく関係しているのを痛感するからです。

たとえば「大きいことはいいことだ」(古いフレーズ!)という価値観が女性差別、人種差別、障害者差別などに関係アリと思います。大相撲だといまは日馬(はるま)富士、昔は岩風(古い、古い)など“小兵力士”は人気があるし、柔道の醍醐味は小さい人がデカイ人を投げ飛ばすところにもあるのに、ぼくたちの多くは“大きくなりたい”願望を持っているようです。一寸法師は小さいおかげでお姫さまを救ったのに、そのとたん大きくなって、これは「小さいこと」へ感謝しない裏切り行為ですね。

もっと「小さいこと」や「弱いこと」の利点を見つめたほうがいいと、ぼくたちはずっと雑誌を作ってきました。『ちいさい・おおきい・よわい・つよい』にこめられているのは、価値観を見直そうという呼びかけです。

chio 創刊によせて 編集協力人・小児科医 山田 真



Chio

どんな人たちが作っているの？

①10人の編集協力人がいます。

②これまで、五味太郎（絵本作家）重松清（小説家）山田太一（脚本家）池内了（科学者）浜田寿美男（発達心理・法心理学者）最首悟（社会学者）各氏をはじめ、各界から800人を超える方々の執筆・取材協力が。

③約1,000人の読者モニター。特集テーマには、毎回多くの読者の声が反映されています。

④全国各地に「読む会」が。講演会・イベントも、こうした読者たちによって開催されます。



青野典子
(保育士)



石川憲彦
(児童精神神経医)



内田良子
(カウンセラー)



大谷尚子
(養護実践研究
センター代表)



Chio&Oha 読者参加イベント



北村美佳
(元夜間高校
養護教員)



岡崎勝
(小学校教員)



桜井智恵子
(大学教員・教育学)



富山洋子
(日本消費者
連盟顧問)



毛利子来
(小児科医)



山田真
(小児科医)

Chioは、子育て中のお母さんが編集人をつとめてきました。

4代目編集人は、このひと！



Chio113号では、立命館大学・社会学者の立岩真也さんに「障害者差別の歴史から」を取材。



おくだ・なおみ 1979年生まれ。京都西陣でおつれあいと古書店「ライモブックス」を営む。Chioは創刊号からすべてを常備。6歳の娘さんとの3人家族。

Chio 編集人？ とても、とても思いながら



6歳のこどもと暮らす生活は、怖いこと不安なこと、どう考えればいいかわからないこと……、そんなことに尽きません。

わたしがChioの編集人なんて、とてもとても、そう思いながらもお引き受けしたのは、今この社会で暮らし、こどもを育てていくということは、そんな怖さや不安に、正面から、ななめから、あるいはちょっと遠くから、向き合っていくしかないと思ったから。

Chioに、そういうものへのわかりやすい答えはないかもしれない。けれど、それらにどんなふうに向き合っていくかを考えるヒントとなる言葉が詰まっています。

これからChioという場を通して、みなさんと考え、悩み、つながっていけたらと思います。

Chio 編集人 奥田直美

Oha (おそい・はやい・ひくい・たかい) どんな本?

1998年創刊
A5判 128P



①サブタイトルは「小学校から思春期・自立期 BOOK」。

②Chio 創刊から5年後、読者のリクエストをうけてOhaが誕生。激動する社会を親子で生き延びるためのバイブル。

③連載は、宮台真司(社会学者) 村瀬学(児童文化研究者)ほか。

④2017年1・3・5・8・11月、各月25日刊行です。バックナンバーはこちらから↓

どんな人たちが作っているの?

編集デスク・田上幸代からのメッセージ

保育園児だった息子も、あつというまに6年生。……どったんばったんしながら、半分自分ごととして毎月とろくんでいます!



編集人・岡崎勝のメッセージ

親たちが辛いときや出口が見えないときに励ましあい、本当に役立つ「指針」「原則」「経験」「知識」といった質のいい情報を提供したい。



Chio&Ohaの定期購読をおすすめする理由

子育ては、ときには一朝一夕には解決しない問題も起こります。そんなときに、より長く深くChioやOhaを読んだことが役に立ちます。巣立ちのときまで、親子をつなぐ大切な本。読み継がれる理由はそこにあります。

Chioは、2017年4月より、単行本スタイル+別冊連載「Chio通信」となり、通信は定期購読の方のみ無料でお届けします。人類学者・京都大学総長の山極寿一さん、詩人の伊藤比呂美さんから注目の執筆陣でスタートします。

定期のお申し込みは下記のお電話・FAXのほか、右のQRコードからもアクセスできます。



ご注文は、お近くの書店か、直接小社へお申し込みください。

発行元 **ジャパンマシニスト** TEL. ☎0120-965-344 FAX.042-860-5433

定期購読お申込み欄	号数	期間	備考(書店番線印)
ちいさい・おおきい・よわい・つよい 1年間(4冊)6,900円	No. ~	年分	
おそい・はやい・ひくい・たかい 1年間(6冊)7,770円	No. ~	年分	
お名前 (ふりがな) _____)			
ご住所 〒 _____			TEL () -